



社員・シャインな職場訪問記⑤①



「御門米飴」でよく知られる砂糖傳増尾商店や奈良自動車学校など幅広い事業を展開するマスオグループ様。グループ全体の総務や人事など経営をサポートする株式会社マスオ総合事務管理センター様が令和3年度「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」総合表彰を受賞されました。具体的な取り組み内容について、増尾朗社長と牛尾成子部長にお話をうかがいました。



株式会社マスオ総合事務管理センター

事業内容：事務受託管理業

所在地：奈良市三条大路1-1-93

TEL：0742-34-3000

URL：https://masuogroup.co.jp

外部の客観的な指標を得て 本格的な取り組みをスタート

「働きやすい＝良い仕事をしやすい」ことだと考え、以前から働きやすい職場づくりを進めていましたが、本格的に取り組み始めたきっかけは「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」の登録募集でした。客観的な指標により、目標が明確になりました。まず、マスオ総合事務管理センターを中心に、社内的な標準ルールを整備し、現在はグループ全体に水平展開しているところです。

具体的には、仕事と家庭の両立を目指して新たな勤務形態やフレックスタイム制を導入しています。例えば、新型コロナウイルス感染症対策として否応なくスタートしたリモートワークですが、出社しなくても問題なく仕事が進められることがわかりました。これまで子どもの発熱などで休まなければならなかったケースでも自宅勤務が可能となり、コロナ後も新しい勤務形態として活用していきたいと考えています。

結婚や出産、介護に関係なく 能力を発揮できる仕組みを

フレックスタイム制の導入で定時より早い帰宅が可能となり、遠方からの通勤や子育て中の職員のワークライフバランスが実現できました。アプ



ターファイブを有意義に過ごせるようになったという声も聞きます。

当社は女性の比率が高いこともあり、女性活躍推進企業認定「えるぼしマーク」を取得しています。本来、結婚や出産、介護といったことは男女両方に関わることなのに、これまで女性が家庭か仕事かを選ぶことを強いられてきました。子育てや介護をしながら仕事においても能力を発揮できる仕組みを作った方が会社にとっても良いことだと思っています。

そこで育児・介護休暇や、マタニティー有給休暇、パートナー出産休暇制度を充実させた結果、介護を理由に退職する人が少なくなりました。

働きやすい職場づくりで 会社の実績も向上

従業員の長期休暇を確保するためゴールデンウィークの5日間、自動車学校を休校にしました。利用者が少ない時期とはいえ、少し不安でしたが、実際には問題はありませんでした。休日を増やしたり勤務時間を短くしたりすることで、経営者の方は生産性の低下を心配されるかもしれませんが、従業員が自ら効率よく仕事を進めるためにどうすべきかを考えるようになり、むしろ会社の実績は向上します。

今後は従業員の健康づくりに注力しようと、今年「健康経営宣言」を行いました。アプリを活用して一人ひとりの健康管理を行うほか、万一、長期療養することがあっても生活費をサポートできる制度を整えました。当グループでは性別や国籍を問わないダイバーシティを推進していく計画ですが、誰にとっても働きやすい職場づくりをこれからも推進していきたいと思っています。

